

会 議 録

- 1 会議名 平成27年度第1回上越市スポーツ推進審議会
- 2 議題（公開・非公開の別）
 - (1) 報告事項 (公開)
 - ①「上越市総合教育プラン」第3期実施状況
平成26年度事業推進報告及び評価
 - ②平成27年度体育関係施策について
スポーツ振興方針及び推進事業内容、予算
 - (2) 協議事項 (公開)
 - ①上越市スポーツ環境の現状
 - ②今後のスポーツ振興策の展望
 - ③平成27年度上越市スポーツ推進審議会予定
- 3 開催日時 平成27年4月28日（火）午後2時から4時まで
- 4 開催場所 上越市教育プラザ 202会議室
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 非公開の理由 なし
- 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）
 - ・委員： 榊原 潔、大塚俊明、丸山治夫、今井英一郎、小日向俊郎、有澤真理子
倉石義行、山岸由美子、白砂 弘、岡本猛男、松井和代、宮下義嗣、
塚田常男
 - ・事務局： 佐藤課長、星野副課長、近藤係長、石田係長、小林主任、高島主事、
高橋主事、杉原体育専門指導員、河野生涯スポーツ指導員
- 8 委員長、副委員長選出
任命書交付後、委員の互選により倉石義行委員が委員長に、松井和代委員が副委員長に選出された。
- 9 発言の内容
【倉石委員長】

非力ではありますが、上越市スポーツ推進審議会委員長として力を発揮していきたい。委員の皆様から多くの意見を出していただき、その意見交換を基に教育委員会への提案や提議に努力していきたい。よろしくお願ひします。

 - (1) 報告事項
 - ①「上越市総合教育プラン」第3期実施状況（平成26年度事業推進報告及び評価）
について、近藤係長が資料1・2に基づき説明。**【榊原委員】**

施策2の成果指標にある中高生の北信越大会への出場数には、県立、国立、私立の学校は含まれているのか。それに関連して、スポーツ活動サポート事業では、県立、

国立、私立の学校へも外部指導者を派遣しているのか。

【佐藤課長】

北信越大会への出場数には県立、国立、私立の学校が含まれている。スポーツ活動サポート事業は、市立の学校を対象として実施しているので、県立、国立、私立の学校には外部指導者を派遣していない。

【榊原委員】

施策としては県立や私立の学校に手立てをしていないのに、成果として県立、私立をカウントしている。施策の成果を見るというのであれば、サポート事業も、県立、国立、私立の学校を対象にし、要望があった場合は、市立か否かに関係なく派遣した方が良いと考える。また、市内の県立、国立、私立の学校へ情報提供がされているのかも教えてほしい。

【佐藤課長】

情報提供はしていない。今後はニーズを把握し、予算措置を含め対応していきたい。

【大塚委員】

施策3の達成状況をみると、所管の体育施設の利用回数やニュースポーツなどの参加者が成果指標よりかなり増加しているが、その原因はどんなところにあるか把握しているか。

【丸山委員】

平成25年度の実績を把握していなくて申し訳ないが、平成26年度における施策1のスポーツイベントの参加率が成果指標に達しなかった要因は何なのか分析をしているか。

【佐藤課長】

平成26年度の達成状況をまとめたばかりな状況で、まだ詳細については分析、把握が済んでいない。今指摘された成果指標より増加した要因や、指標に達しなかった原因について分析し、次回報告したい。

【小日向委員】

野球協会の立場としての見方であるが、学童野球の加入人口が年々減少している。これは少子化が要因の一つと推察している。スポーツイベントの参加率低下も少子化の影響を踏まえて検討することも一法と考える。

【倉石委員長】

併せて、部活加入率、スポーツクラブ加入率も調べられたら調べてほしい。

②平成27年度体育関係施策<スポーツ振興方針及び推進事業内容、予算>について近藤係長が資料3・4・5に基づき説明。

【松井委員】

資料3で、ジュニアトップアスリート育成強化補助金の支出対象種目に野球と山岳を追加するとある。現在補助金を支出している4団体を以前に聞いたのだが、再度教えてほしい。

【佐藤課長】

陸上競技、バレーボール、体操、空手である。

【大塚委員】

総合教育プランの第3期実施計画の成果指標は、第2期の評価を基に平成25年に設定したものである。その指標に向かって施策を推進していく観点から安易に指標を変えることはできないと思うが、年々背景が変化している状況を考えれば成果指標をより適切なものにしていくことは大切なことである。その指標を変更してもよいのではないか。成果指標の見直しや変更はできないのか。

【佐藤課長】

実施計画の3年間は、PDCAサイクルで評価、見直しをしている。平成26年度の実績が出たばかりなので、平成27年度の目標値をすぐに変更することは難しい。平成28年度の指標は検討して変更することは可能であり、高い目標を掲げることは大事である。しかし、あまり目標値を低くすると、達成ありきの動きになってしまう傾向があるので、慎重に検討すべきである。

【丸山委員】

野球場や陸上競技場の整備は大変ありがたい。それに伴い、高田公園内の施設の駐車場や、その他周辺施設の整備は考えていないのか。

【佐藤課長】

検討はしている。上越タイムスにも掲載されたが、ソフトボール球場の在り方をどうするかを含め、厚生産業会館の建設に伴い、高田公園内の施設全体の駐車場使用状況を踏まえて関係機関と連携を取りながら検討を進めている。

【榊原委員】

資料4をもう少し整理した方が良い。資料5では、一般スポーツ活動推進事業のうち、「アスリート育成強化、指導者発掘・育成」が推進事業として類別して示されているが、資料4では、一般スポーツ推進事業の中に含まれているため、説明してもらえないと分かりにくい。

【倉石委員長】

資料3に、「各種補助金については、28年度からの削減・廃止に向けて、27年度に市民等への説明を行う」とある。各種補助金が見直され、今後削減・廃止される動きであるが、その基準について説明願いたい。

【佐藤課長】

補助金の使われ方や額は様々である。事業の全てを賄っているものもあれば、総額の1割というものもある。それぞれの事情や状況について把握するため、各団体と話し合いを進めていく予定である。あくまでも結論ありきの見直しではない。統一を図りたいというのが基本的な考え方である。

【倉石委員長】

見直しの視点について、基本的なものを次回審議会で示してほしい。併せて使用料基準、減免基準もおよそのところが決まったところで示していただきたい。

2020年のオリンピックに向けて各市の動きが活発になっているが、感想として、上越市の施策がいまいち見えない。上越市がアピールする取組をズバツと示してほしい。施設整備はあるが、事業的なことがよく分からない。平成28年に向けて、元気が出るようなお題目を掲げる必要があると考える。

【佐藤課長】

平成27年度は、情報収集をしている段階である。今、国からいろいろな基準が出ているおり、市が活用できるものを精査している。ハード面では、大潟アリーナの近くに建設予定の体操施設を平成29年の10月までに完成させ、多方面でその施設を活用してもらえよう、市から情報発信をしていきたいと考えている。

(2) 協議事項

①上越市スポーツ環境の現状について、近藤係長が資料6に基づき説明。

【倉石委員長】

スポーツ推進委員の職務に「市民のスポーツ活動を促進するための組織の育成を図ること」が示されている。その観点からみると、市内各所に総合型地域スポーツクラブがあることが重要である。市の総合型地域スポーツクラブは、平成21年に名立にできてから5年間一つも新設されていない。なぜできないのかを考えていかなければならない。スポーツ推進委員がスポーツクラブの無い所に働き掛けをしているのか。今後、一緒に検討していく必要がある。

【松井委員】

拠点施設がなければ、スポーツクラブの設立は困難である。スポーツ推進委員から事業に参画してもらうことも一法。スポーツクラブの財政面から考えると、金銭面でもっと市から援助をしてもらいたい。市の政策にのっとった事業をする場合や事業が継続化される場合は、補助を考えるべきである。スポーツクラブが援助を受けやすいという話も聞いている。県では、届出制度をする動きである。受益者負担が原則ではあるものの、県への届出というと、市が県に報告したものを総合型地域スポーツクラブにカウントするのか、単に総合型という名称がついたクラブをカウントするのか、市がどのような判断をしているのか気になるところである。減免は、総合型スポーツクラブに限るというのも是非を十分に考えていただきたい。

【佐藤課長】

県の事業を総合型地域スポーツクラブへおろしていきたいが、いろいろな形態があるので検討を要する。減免制度にも関わるが、総合型地域スポーツクラブに加盟しているところに配慮していくことも検討していかなければならない。

【倉石委員長】

総合型地域スポーツクラブの活動をどう支援するのか、スポーツクラブの設立にはどんな取組が必要なのかということと一緒に考えていかなければならない。

②今後のスポーツ振興策の展望について、近藤係長が資料7に基づき説明。

特に質問、意見なし。

③平成 27 年度上越市スポーツ審議会予定について、近藤係長が資料 8 に基づき説明。

【佐藤課長】

補助金や減免の基準についての検討は、10 月に予定している第 2 回審議会の前に終わっているのので、文書で情報提供し、意見集約をさせてもらいたい。なお、基準の検討段階で審議会を開催することが望ましいのであれば、期日の検討をしたい。

【倉石委員長】

文書での情報提供でよいと思う。審議する内容ではないので、どういう方向性が情報をもらえればありがたい。

【佐藤課長】

今日の会議の宿題になった評価についての分析・まとめについては、次回の 10 月に報告したい。

(3) その他

【小日向委員】

ご案内のとおり、ドリーム・ベースボールが 5 月 5 日、6 日に高田公園野球場で行われる。多くの方から足を向けてほしいと願っている。

【松井委員】

現段階の参加状況は盛況なのかどうか。金田選手の講演会の参加状況はどうか教えてほしい。

【佐藤課長】

ドリーム・ベースボールの入場整理券は各方面に配布し、求めてもらっており、現段階で 3,000 人ほどの入場が見込まれる。講演会の参加については、まだ余裕があり、各団体の方に参加を依頼している状況である。

【松井委員】 閉会のあいさつ

スポーツを取り巻く環境が日々変化している。しかし、スポーツの持つ波及効果は大きく、市民の幸せ度を高めることに大きな影響をもたらす。審議会での議論を通して、市の施策について提言すべく、スポーツを手段として、未来に向かって方向付けをしていきたい。

10 問合せ先

教育委員会体育課スポーツ振興係

TEL : 025-545-9246 (内線 616-1330)

E-mail : taiikuka@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の資料も併せてご覧ください。